



恵佑会だより

2014.6 Vol.14 ——— 発行・社会医療法人 恵佑会札幌病院

〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号

TEL 011-863-2101 FAX 011-864-1032 <http://www.keiyukaisapporo.or.jp/>

2014
夏号
Vol.14

アメリカ西海岸病院視察研修を実施しました!

食道がん手術件数が全国1位になりました

外来中央処置室(採血・点滴室)の移転と
化学療法室開設のお知らせ

地域住民講座 開催のご報告

第2病院より 内視鏡によるがんの早期診断と治療
～進化した内視鏡診断と治療～



アメリカ西海岸病院視察研修を実施しました!

2014年2月16日から9日間の日程で、ロサンゼルスなどアメリカ西海岸を目的地として米国病院視察研修を実施しました。今回の視察研修には、社会医療法人恵佑会より医師・看護師中心に15名が参加いたしました。例年2月の現地は比較的雨の多い時期ですが、滞在中は天候にも恵まれて無事全日程を終えることが出来ました。以下、医師、看護部、事務局それぞれより報告をさせていただきます。

・概要

目的地：米国カリフォルニア州ロサンゼルスほか
参加者：職員計15名(医師4名、看護師9名、事務職員2名)
旅行期間：2014年2月16日(日)～24日(月)[9日間]
研修先機関：ロナルド・レーガンUCLAメディカルセンター
南カリフォルニア大学 ケックホスピタル
シティ・オブ・ホープ病院
[米国がん協会認定 がん総合センター]



ロナルド・レーガンUCLAメディカルセンター

米国の手術見学を通じて実感したこと

耳鼻咽喉科部長(札幌病院) 谷口 雅信

成田空港を16日夕方に出発し、10時間弱のフライトの後にロサンゼルスに到着しました。時差が17時間あることから、同日の午前到着となりました。滞在期間を通して快晴が続き、札幌だと真夏と感じられるような気候に恵まれました。

滞在中に見学したのは、ロナルド・レーガンUCLAメディカルセンター(以下「UCLA」)。2013年全米ベストホスピタル第5位に選ばれた有名病院です。集合時間は午前7時、まだ薄暗い中を自宅からカラフルなスクラブに上着を羽織った姿の職員が続々と出勤していました。これは、定期手術開始が午前7時30分と、日本より随分早いからです。

ロビーで外科医師のTillou先生とアシスタントのValentin氏と待ち合わせした後、病院内を案内して頂きました。昨年までUCLAに留学していた札幌病院呼吸器外科・平岡圭先生の手配のおかげもあり、通常は困難とされる手術室内の見学も許可されました。手術室は全部で24室あり、各専門領域の手術をグループ別に1日見学しました。4日目は、午前7時に開始される定例外科カンファレンスを始めとして、レジデントの解剖実験などを見学し同病院の見学を終了しました。午後からは、車で約30分の距離にある南カリフォルニア大学(University of Southern California、



USC 胸部外科スタッフとの食事会の様子

以下[USC])ケックホスピタルを見学しました。MBA取得でUSCに留学経験のある本郷次長の申請により、見学許可が降りたとのことです。同院では、食道外科医として親子二代に渡り有名なDeMeester教授自らが手術室やICUを案内して下さり、直接執刀した腹腔鏡下の食道裂孔ヘルニア手術も見学しました。夜には我々のために食事会を開催して頂きました。USCからはDeMeester教授をはじめ、医師3名と看護師3名が参加して下さり、今後の当院との交流継続を期待させるような楽しい時間を過ごしました。

今回の視察旅行では、訪問したいずれの施設でも丁寧なもてなしを受けました。これは食道がんをはじめとする当院の診療実績が非常に注目されていたことを反映したのもであり、今後の日常診療の励みとなる貴重な経験となりました。

米国の看護の現場を体験して学んだこと

看護部主任(第2病院) 高田 麻利央、馬場 恵
看護部(札幌病院) 橘 絵梨子

海外でのがん医療の実情を見聞し、視野を広げる目的で病院見学や手術見学、がん看護に関する研修プログラムに参加するなど、国内では経験できないものばかりで大変学びの多い研修旅行でした。UCLA、そしてUSCでは手術見学・施設見学を行ないました。

UCLAでは鏡視下食道胃切除術、ダヴィンチによる僧帽弁置換術などの手術を見学しましたが、保険制度の違いなどから入院し手術を受けるまでの期間が短いため、手術室に入室してから全身麻酔下で食道ファイバーや気管支鏡などの検査を行ない、確定診断後、手術を行っていました。

USCでは逆流性食道炎の腹腔鏡下胃食道逆流防止術など見学しました。日本との違いでは器械出し看護師は1～2時間に1回、15分程度のリフレッシュタイムをとっていました。米国と日本の保険制度の違いから在院日数が短く、確定診断に至らない状態での手術になることもあり、手術前後の流れに相違があることがわかりました。実際に手術見学をすることで術式の理解が深まり、今後術前術後の看護に活かしていきたいと思いました。

がん医療・がん看護においては南カリフォルニア地区で全米トップクラスのがんセンターを目指し、米国がん協会よりがん総合センターの認定を受けているシティ・オブ・ホープ病院を見学しました。米国では、外来で治療する患者さんが多いためサポート体制が充実しており、がんの診断・治療・患者サポートにおいて総合的サービスを提供している病院でした。一般外来とは別にがん治療を行っている患者さんの専門外来が24時間体制で対応しているため、安心して治療が受けられる体制が整えられていました。また、がんについて総合的な情報提供をするセンターがあり、疼痛管理スペシャリストや精神科医など20職種 of 専門家がチームを組み、患者さんの抱える問題に対して、総合的にサポートサービスを提供していました。その中で、看護師は患者さんの問題を理解し、個別性のあるケアが受けられるように調整し、教育をする重要な役割がある事を学びました。私達も、がん専門病院の看護師として、患者さんが安心して治療を受けられるようにサポートし、質の高い看護が提供できるように日々学んでいこうと強く感じました。

米国での研修旅行で得た学びを、恵佑会のがん医療・がん看護に還元できるよう努力していきたいと思えます。



シティ・オブ・ホープ病院にて

事務局窓口の雑感 事務次長(第2病院) 本郷 信生

事務局窓口として、本研修プログラムの準備段階から企画・運営に携わらせて頂きました。行き届かない部分も多々ありましたが、全日程を終了し無事帰国することが出来、非常に素晴らしい経験になったと実感しています。

「幅広い視野を持った若手を育成し、がん医療を中心に恵佑会の更なる発展に繋げるべく実現したい」との細川理事長の構想により、本研修プログラムが実現しました。約半年前から準備を進め、他院では経験出来ない恵佑会オリジナルな内容を目指してきました。一部看護部向けプログラムを除き、個別交渉により様々なルートを介して検討を重ねました。現地スタッフとのやりとりはもちろん全て英語です。その過程は必ずしも順調ではありませんでしたが、最終的には米国西海岸を代表する一流病院を無事見学することが出来ました。UCLAでは医師ではない私までもが、現地の研究留学生ですら着ることが出来ないスクラブを身にまとい手術見学に参加させていただき、大変印象深い経験となりました。

今回の海外研修プログラムを無事終えることが出来たのは、偏にご支援ご協力を頂いた方々のお陰です。中でも呼吸器外科平岡圭先生には、ご自身の留学時の人脈により、UCLA見学の橋渡しをしていただきました。関係して頂いた皆様には、この書面をお借りして御礼申し上げます。

今回訪問した病院はいずれも敷居が相当高く、病院見学、特に手術見学はよほどの事がない限り許可が降りないそうです。そのような中で手厚いおもてなしを受けて、恵佑会の食道がんを中心とした治療実績が海外でも広く認められていることを実感したところでもあります。



USC DeMeester教授を囲んで

食道がん手術件数が全国1位になりました

3月2日の読売新聞に「2013年の主な医療機関の食道がん治療件数」が掲載され、恵佑会札幌病院の手術数は173件で、全国1位の件数でした。

読売新聞によると、日本消化器病学会及び日本消化器外科学会の認定施設1229施設に2013年の治療件数の調査を実施し、回答のあった464施設のうち手術数が7件以上の病院が掲載されています。

細川理事長は「このようなランキングで病院のレベルを再確認し、トップレベルだという自覚とプライドを持って業務に励んでほしい」と話していました。今後ご期待ください。

病院名	手術数 (うち鏡視下手術)
恵佑会札幌病院	173(29)
国立がん研究センター東病院	151(90)
国立がん研究センター中央病院	121(21)
順天堂大学順天堂医院	121(0)
大阪市立大学病院	113(77)

3月2日読売新聞より(件数の多い5施設を抜粋)



恵佑会札幌病院の食道がん手術数と全国ランキング

(2004~2013の10年間) ※参考:週刊朝日MOOK「手術数でわかるいい病院」

外来中央処置室(採血・点滴室)の移転と化学療法室開設のお知らせ

外来中央処置室では血液検査(採血)を1日平均190件、注射・点滴1日平均20件を行っています。2014年4月から中央処置室の場所が、廊下をはさんで向かい側(旧耳鼻科外来)の場所に移転いたしました。採血台を増設し、すこしでも患者さんの待ち時間を減らすことができるよう努力してまいります。

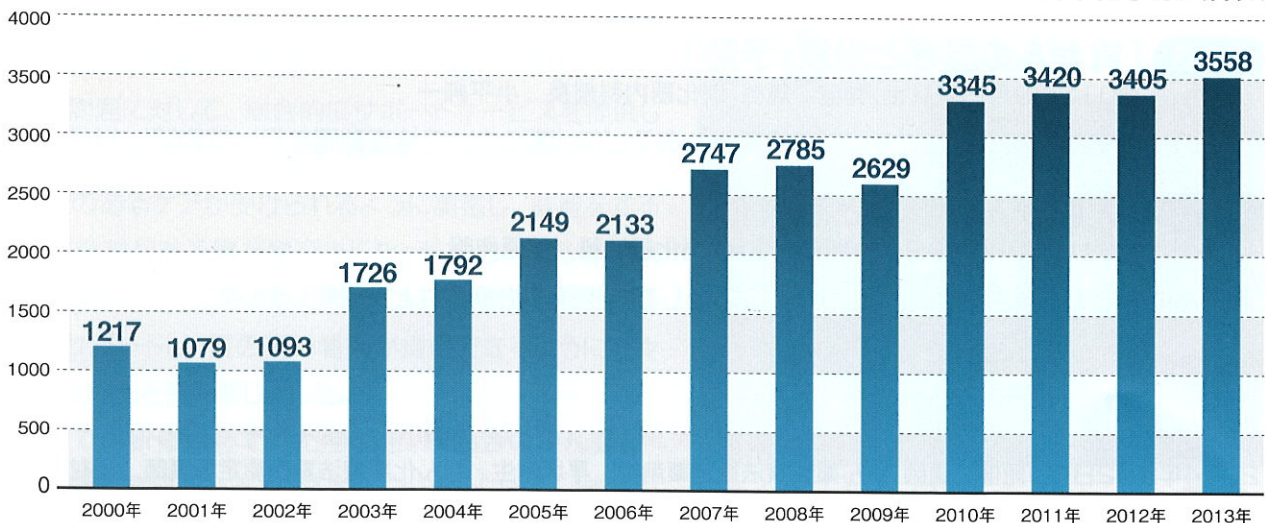


当院では2000年から外来化学療法(抗がん剤治療)を行ってきました。以前の化学療法は入院して実施されていましたが、副作用が軽減した抗がん剤や、吐き気止め、内服抗生剤、白血球増

多因子の開発により、安全に外来で化学療法を実施できるようになりました。この数年の間に急速に入院から外来治療へと移行しており、「普段の生活をしながら化学療法を受ける」時代になってきました。

札幌病院でも外来化学療法件数が年々増加してきており、2013年度は年間3558件の治療を行っています。しかし、化学療法室のベッドが11床だったため、ベッドが空くまでお待ちいただく事や患者さんの帰宅時間が遅くなるなどのご迷惑をおかけすることがありました。これまでは利用時間が重ならないように調整するなどの工夫で対応していましたが、依然ベッドの予約がとりにくい状況が続いていました。この状況を改善するため、外来化学療法のベッドが11床から18床に増床となりました。患者さんの治療がスケジュールどおり遂行できる体制の整備、また、専任のスタッフがおり、治療の副作用や不安を軽くできるように相談を受けるなど、治療しながらできるだけ今までどおりの生活が過ごせるようお手伝いをさせていただきます。当院にはがん薬物療法専門医、がん化学療法看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師が勤務しており、抗がん剤治療が安全に投与できるようにする体制作りを行っています。患者さんに安全な抗がん剤治療を安心して受けていただけるように努めてまいります。

■外来化学療法件数



地域住民講座 開催のご報告



最近開催した地域住民講座の内容を以下に掲載いたします。
今後も是非ご参加ください。

■ 恵佑会札幌病院 ■

第29回 「最新の乳がん治療」

2013年6月22日(土)開催 講師:呼吸器・乳腺外科 副院長 鈴木康弘

乳がんの発生や増殖メカニズム、がんの分類による治療法の選択などを解説しました。

第30回 「口腔がんと口腔ケア～口腔がんの治療に関連する口腔ケアについて～」

2013年8月31日(土)開催 講師:歯科部長 柝原義之/歯科衛生士 田村香織

口腔の役割および口腔がんについて述べ、口腔がん術後の口腔ケアの目的と重要性を解説しました。

第31回 「さぁ手術。今からできることは？」

2013年10月26日(土)開催 講師:麻酔科 副院長 小村好弘

手術に対する心構えや不安への配慮など、早期発見には「定期的な検診が必要」と述べました。

第32回 「胃の手術と後遺症対策」

2014年2月22日(土)開催 講師:消化器外科 副院長 西田靖仙

胃に関する手術を行った場合に引き起こされる症状や副作用、食生活の注意点等をお話しました。

第33回 「"ストーマ" ってなに?」「最近の人工肛門・人工膀胱のケア」

2014年6月7日(土)開催 講師:消化器外科 副院長 久須美貴哉/皮膚・排泄認定看護師 坂本理和子

■ 恵佑会第2病院 ■

第3回 「食道がんについて～早く見つけて治療しよう!＊早期発見と内視鏡的治療＊」

2013年5月18日(土)開催 講師:消化器内科 岡原聡

食道がんの検査方法や内視鏡的治療を中心に、その原因となる逆流性食道炎も含め解説しました。

第4回 「肝臓がんの診断と治療」

2013年7月20日(土)開催 講師:消化器内科主任部長 松本岳士

肝臓がんの原因、症状、治療法について説明しました。

第5回 「胃がんの診断と治療・予防」

2013年9月28日(土)開催 講師:消化器内科部長 小平純一

胃がんの検査・診断方法、そして胃がんの原因でもあるピロリ菌について検査動画を用いて説明しました。

第6回 「大腸がんの診断と治療」

2013年11月16日(土)開催 講師:消化器内科 菅原伸明

大腸がんについて、その原因、症状、検査方法、そして内視鏡の治療法などを説明しました。

次回開催! 札幌病院

「抗がん剤に影響を与える食品と健康食品」「抗がん剤による脱毛とケア」

2014年8月2日(土)開催 講師:がん薬物療法認定薬剤師 早坂州生/がん化学療法看護認定看護師 岩村千晴

内視鏡によるがんの早期診断と治療 ～進化した内視鏡診断と治療～

恵佑会第2病院 消化器内科 部長 小平 純一

消化管のがんは、早期発見が出来れば、胸や腹にメスを入れることなく治すことができます。本邦では、かなり以前から消化管の腫瘍に対する内視鏡治療が行われてきました。

主な治療法として、開発順にスネアポリペクトミー、EMR(内視鏡的粘膜切除術)、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)の3つがあります。スネアポリペクトミーは、くびれや茎のある腫瘍に金属のワイヤーを巻き付けて切除するものです。EMRは、腫瘍の下(粘膜下層)に生理食塩水などを注入して膨隆させてから切除するもので、この方法により消化管に発生することが多い平坦な腫瘍の切除が可能になりました。ESDは、粘膜に切開を加えた後、腫瘍の下に内視鏡をもぐり込ませながら直視下に粘膜下層を剥離する治療法です。これにより、大型の腫瘍や消化管壁に癒着した潰瘍合併腫瘍など、これまで内視鏡切除が難しく開胸・開腹手術の対象であった病巣の治療が可能となりました。なお、病巣に傷をつけることなくきれいに切除した場合は、再発することがほとんどありません。ESDは、日本で開発され海外からも注目されている内視鏡技術で、消化管がんの治療に大きな変革をもたらしました。当初胃がんに対する治療がほとんどでしたが、治療用ナイフや高周波装置など周辺機器の改良が進み、現在食道から大腸まで全消化管での治療が可能となっています。



下部消化管内視鏡検査の様子

恵佑会で消化管がんに対するESDが導入されてから10年以上が経ち、道内ではトップクラスの治療数、特に食道がんは国内屈指の治療数を誇ります。2013年に恵佑会で行われたESDは、食道121、胃190、大腸

60件の計371件でした。現在恵佑会の内視鏡治療は、札幌病院外科チームのバックアップのもと、主に第2病院で行われています。

恵佑会では診断にも力を入れており、近年日本で開発されたNBI(狭帯域光観察)拡大内視鏡を用いた術前評価を行っています。これにより、消化管粘膜の詳細な観察が可能となりました。食道や大腸では、がんの表面に観察される毛細血管の形態からがんの深達度が推測可能です。また、慢性胃炎を背景に生じる胃がんは、病巣の広がり

が分からないこともありましたが、NBI拡大観察により多くの胃がんの広がりが腺管単位で認識可能となりました。こうして丹念に診断治療されたがんの多くは切り出し後に院内で病理診断が行われ、治療医が自ら標本を鏡し、内視鏡診断の正確さを確認しています。

現在日本人の2人に1人ががんに罹患する(正確には診断される)とされています。約20年前、私が医学部の学生だった頃は、4人に1人ががんになると教えられました。がんの増加は、平均寿命の伸びだけでは説明が付きません。ここ20年でがんの診断技術、特に早期発見の技術が向上したことによるものと考えています。当院でも、確かな診断と治療をより多くの方々に提供できるように、これからも精進して参ります。

■2013年内視鏡実績

	項目	件数
検査	上部消化管内視鏡検査	13,330
	下部消化管内視鏡検査	7,813
治療	食道ESD	121
	胃ESD	190
	大腸ESD	60

※件数は札幌病院・第2病院の合計

法人概要

名称	社会医療法人恵佑会(シャカイイリョウホウジン ケイユウカイ)
理事長	細川 正夫
開設	恵佑会札幌病院:1981年3月1日 医療法人恵佑会:1984年4月1日 社会医療法人恵佑会:2010年9月1日
事業所一覧	恵佑会札幌病院、恵佑会第2病院、恵佑会歯科口腔外科クリニック 恵佑会本通クリニック、訪問看護ステーション恵佑会、居宅介護支援事業所恵佑会
関連施設	サービス付き高齢者向け住宅モーニング

●恵佑会札幌病院 概要

代表者	院長 平川和志
所在地	〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号
電話	(011)863-2101(代表)
FAX	(011)864-1032
ホームページ	http://www.keiyukaisapporo.or.jp/
診療科目	外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、 気管食道外科、消化器内科、腫瘍内科、 緩和ケア内科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、 アレルギー科(耳鼻)、泌尿器科、 放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、 歯科、歯科口腔外科
入院病床数	229床 (緩和ケア病棟24床、特定集中治療室4床) (DPC対象病院、一般病棟入院基本料7:1)
併設各種指定	恵佑会放射線画像センター 地域がん診療連携拠点病院 日本医療機能評価機構認定病院 (審査体制区分3、ver.6.0)
診療時間	平日/午前8:30~12:00(受付8:00~11:30) 午後13:00~17:00(受付12:00~17:00) 土曜日(歯科のみ)/午前8:30~12:00 (受付8:30~11:30 初診の場合は11:00まで) ※診療、受付時間は診療科で異なる場合がございます。 ※日・祝日は休診です。

●恵佑会第2病院 概要

代表者	院長 高橋宏明
所在地	〒003-0027 札幌市白石区本通13丁目北7番1号
電話	(011)863-2111(代表)
FAX	(011)863-2261
ホームページ	http://www.keiyukai2.jp/
診療科目	内科、消化器内科、放射線診断科
入院病床数	135床(個室39床) (一般病棟入院基本料10:1)
診療時間	平日/午前8:30~12:00(受付8:00~11:30) 午後13:00~17:00(受付12:00~17:00) ※土・日・祝日は休診です。

●恵佑会歯科口腔外科クリニック 概要

代表者	院長 中嶋頼俊
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西4丁目5番1号 大手町ビル6F
電話	(011)788-8261
FAX	(011)788-8262
ホームページ	http://kuosclinic.web.fc2.com/clinic/
診療科目	歯科、歯科口腔外科
診療時間	平日/午前9:30~13:00 午後14:00~19:00(木曜は18:00まで) 土曜日/午前9:30~13:00 午後14:00~17:00(お問い合わせください) ※日・祝日は休診です。

交通機関

地下鉄	東西線「南郷13丁目」駅下車、徒歩約7分 (3番出口より国道12号線方面へ約500メートル)
JR北海道バス	JR北海道バスターミナル札幌駅、新札幌駅、北広島方面より [1][1-3][13][15][22][24][26][33]にご乗車ください。
JR北海道バス(高速バス)	えりも・様似・浦河・静内方面より「高速えりも号」にご乗車ください。
中央バス	地下鉄東西線白石駅バスターミナルより[34]にご乗車ください。

※バスはすべて「白石神社前」停で下車(快速は停車しません)

